

【第32回】e-株主リサーチ 個人投資家モニターアンケート

**通年で利益を出した投資家の割合が過去最高に
2010年の投資を表す漢字は昨年同様に「忍耐」**

IRコミュニケーション支援の株式会社エーツメディア (<http://www.a2media.co.jp>) は、個人投資家と上場企業を繋ぐコミュニケーションツールであるe-株主リサーチを使った個人投資家モニターアンケートを毎月実施しています。アンケートの結果ダイジェストは以下の通りです。

■ 通年で利益を出した投資家の割合が過去最高に

2010年の投資活動の自己評価をたずねたところ、「損はしなかった」34%、「かなりの損失が出た」27%、「多少損切りをした」23%、「予想通りの利益を上げることができた」12%、「予想以上の利益が上がった」4%という結果となった。過去の結果と比較してみると、2007年の調査開始から一貫して1割以下であった利益を得た（予想以上の利益+予想通りの利益）投資家の割合が、2010年は16%と過去最高の割合となった。一方、損失を出している（損失+損切り）投資家の割合はリーマンショックのあった2008年に88%と最高値であったが、2009年には66%、2010年には50%と改善の傾向が見られる。特に「かなりの損失が出た」とする投資家の割合は2008年76%→2009年47%→2010年27%と大幅な改善が見て取れる。2010年の株式売買に対するスタンスでは、「様子を見て行う」67%、「積極的に売買する」28%、「まだ売買はしない」6%という結果となった。

■ 株価や企業業績に影響を与えた要因は「外国為替市場の動向」と「米国の景気動向」

2010年に株価や企業業績に影響を与えた要因をたずねたところ（複数回答可）、「外国為替市場の動向」56%、「米国の景気動向」53%の2つが過半数を超えており3つ目以下とは倍近くの差がある。国内要因よりも海外要因が影響を与えたと判断する投資家が多数であったようだ。2010年は円高傾向が顕著であったことから為替市場に注目が集まったといえよう。その他の要因では、「国の財政政策」・「中国の経済成長・景気動向」がそれぞれ27%、「欧州の景気動向」25%、「政権交代」22%が挙げられた。

■ 2010年の投資を表す漢字は昨年同様に「忍耐」

2010年の投資を表す漢字をたずねたところ（2文字以内）、「忍耐」が25票で2009年に続き最も多く記述された。2009年はトップ10がすべてネガティブイメージの漢字であったが、2010年は「円高」「為替」がトップ10入りしており、影響を与えた要因に続いて為替動向に注目の集まった年であったといえる。また、2010年で底打ちなのか？まだ2番底があるのか？という投資家の意識を表しているのか「迷」がトップ10に入っている点は興味深い。トップ10は「忍耐、円高、我慢、低迷、停滞、迷、忍、為替、耐、変」の順であった。

■ 企業価値判断の指標は「株主優待」、財務指標は「配当利回り」

毎月実施している企業価値を判断する際の指標では（複数回答可）、「株主優待」62%、「財務内容・業績」59%、「実績」46%の順であった。財務指標では、「配当利回り」65%がトップ、続いて「配当性向」「株価収益率（PER）」がそれぞれ35%の順となった。

■ 個人投資家が予想する来月の日経平均・円ドルレートは株高・円安

毎月実施している1ヵ月後（1月16日）の日経平均株価予想は「10,500～11,000円未満」（40%）が最も多い。アンケート開始時の終値（10,311円）を軸に見ると、上昇60%、横ばい28%、下落12%と強気の前予想であった。

円ドルレート予想では、「84～86円」（34%）が最も多く選ばれた。アンケート開始時の円ドルレート（84.04円）を軸に見ると、円安35%、横ばい34%、円高32%となった。

前回予想の結果：日経平均は12月半ばに10,300円台と、前回調査時（10,100円台）から約200円上昇となった。

個人投資家予想では、「10,000～10,500円」32%が最も多く選ばれており予想は的中となった。

円ドルレートは、12月半ばに84円台となり、前回調査時（83円台）から1円円安に。個人投資家予想は、「84～86円」33%であり、予想は的中となった。

以上

詳細結果やグラフは下記弊社ホームページに掲載しております。

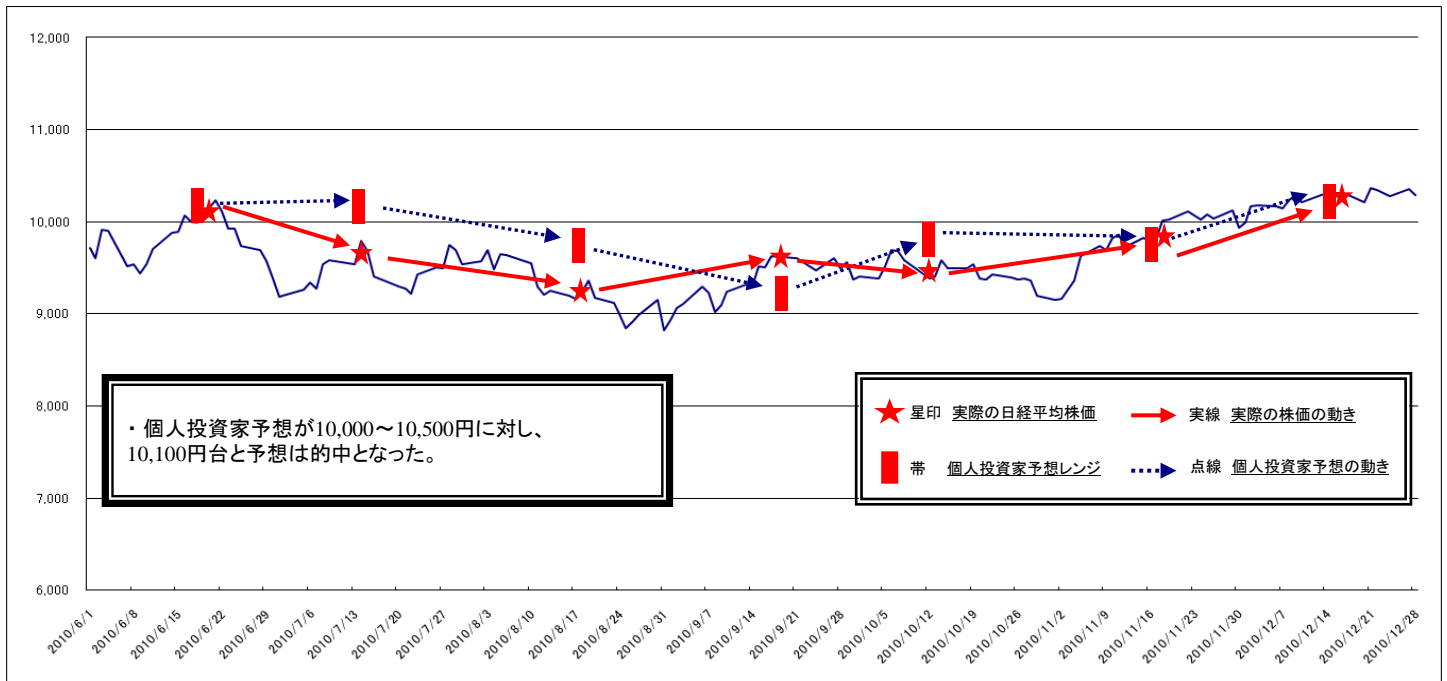
ホームページはこちら⇒ http://www.a2media.co.jp/e_kabunushi/monitor/

<調査概要>

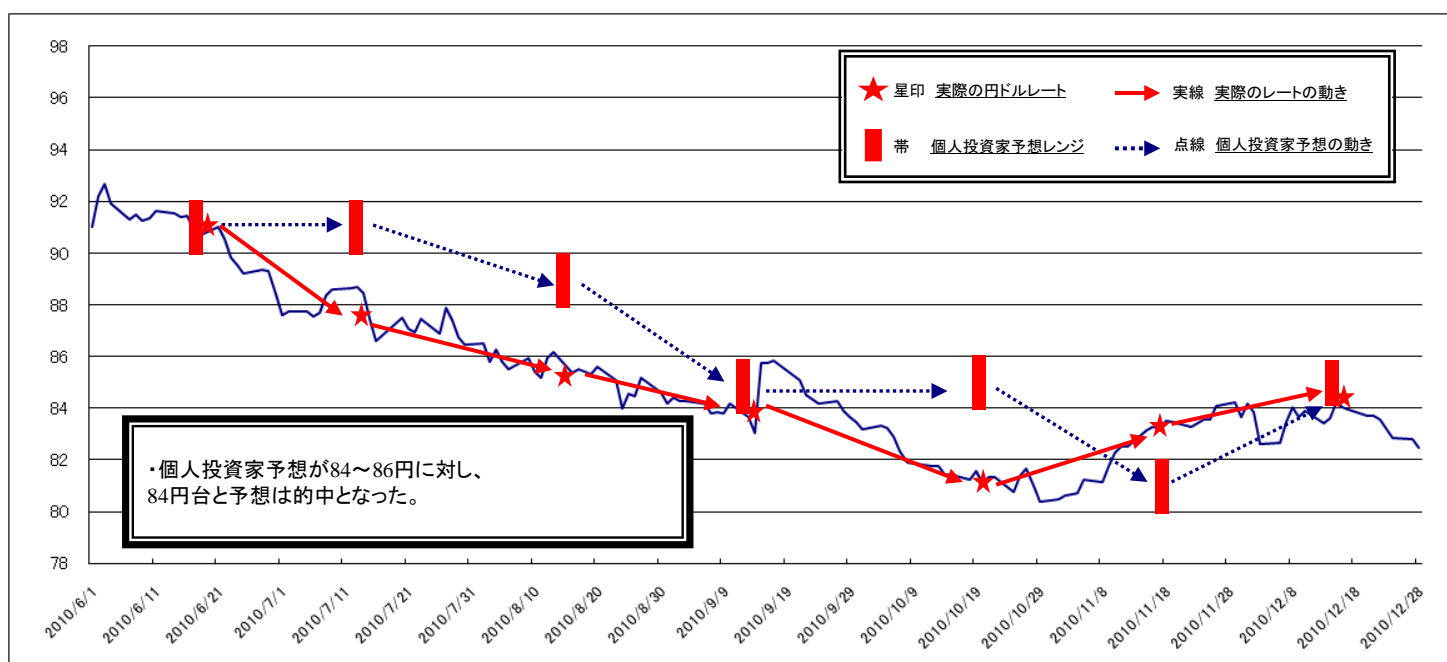
調査方法：インターネットを利用したアンケートリサーチ
 調査対象者：(株) エーツーメディアのe-株主リサーチモニター会員
 調査期間：2010年12月16日～2010年12月21日
 集計回答人数：360人
 調査項目：

- 1.性別 2.年齢 3.職業 4.個人年収 5.株式投資歴 6.投資資金 7.保有銘柄数 8.投資スタイル 9.企業価値を見る上で重視する指標 10.企業価値を見る上で重視する財務指標 11.「2010年」の投資損益 12.「2010年」の売買状況 13.「2010年」株価や企業業績に影響を与えた要因 14.「2010年」の投資を表す漢字 15.「2011年」の投資スタンス 16.1ヵ月後(1月16日)の日経平均予想 17.1ヵ月後(1月16日)の円ドルレート予想 18.アンケートで聞いて欲しい設問 19.今回のアンケート設問への興味

<個人投資家 日経平均株価予想 結果グラフ>



<個人投資家 円ドルレート予想 結果グラフ>



<第32回目アンケート回答者属性>

- 性別/男性81%、女性19%
- 年代/29歳以下4%、30代25%、40代27%、50代23%、60代17%、70歳以上4%
- 職業/会社員46%、会社役員4%、公務員・非営利団体職員9%、自営業9%、パート・アルバイト・フリーター4%、専業主婦9%、学生1%、無職・定年退職15%、その他3%
- 個人年収/100万円以下13%、100～300万円未満16%、300～500万円未満22%、500～700万円未満22%、700～1,000万円未満19%、1,000～2,000万円未満7%、2,000万円以上2%
- 投資歴/1年未満1%、1～2年未満3%、2～5年未満18%、5～10年未満29%、10～20年未満24%、20年以上26%
- 投資資金/50万円以下3%、50～100万円以下7%、100～300万円未満18%、300～500万円未満13%、500～700万円未満10%、700～1,000万円未満13%、1,000～2,000万円未満17%、2,000万円以上20%
- 保有銘柄数/1銘柄1%、2～5銘柄16%、6～9銘柄14%、10～20銘柄26%、21銘柄以上43%、現在は保有していない0%
- 投資目的/インカムゲイン32%、キャピタルゲイン31%、株主優待36%、その他1%

<e-株主リサーチモニター属性>

母集団属性（2010年12月31日現在）

- 性別/男性77%、女性23%
- 年代/29歳以下3%、30代22%、40代28%、50代21%、60代18%、70歳以上8%
- 職業/会社員45%、会社役員4%、公務員・非営利団体職員10%、自営業8%、パート・アルバイト・フリーター4%、専業主婦10%、学生1%、無職・定年退職14%、その他3%

< e-株主リサーチについて >

(株)エーツメディアが実施する個人株主を対象としたインターネット調査。3つのサービスを提供しています。

1. e-株主リサーチ

上場会社が主に本決算・第2四半期（中間）決算期に個人株主向けに配布する年次報告書内にてアンケート告知を行い、インターネットサイトに誘導し回答するシステム（携帯電話でも回答可能）です。IR担当者はリアルタイムで回答状況を把握できるだけでなく、同時期に実施している他社の結果と比較しながら自社結果を閲覧することができます。従来までのはがきを利用した株主向けのアンケートに比べ、劇的なスピードアップとコストダウンを実現。上場企業約464社の採用実績あり（2010年12月31日現在）。

2. e-株主リサーチモニターアンケート

e-株主リサーチ回答者に対してモニター会員の登録案内を行い、現在約18,000名（2010年12月31日現在）が登録しております。時事問題やトレンドをテーマに、個人投資家モニターの考え方や意見について定期的に調査を実施中。

個人株主の実態や企業のIR活動への要望などを分析し、個人株主と上場企業のコミュニケーションの円滑化図っていきます。

3. e-株主フェア

オンラインで実施する個人投資家向け会社説明会です。e-株主リサーチモニターを中心に会場案内を行いますので、投資経験豊富な個人投資家にアピールすることが可能です。また、会社説明閲覧後にはアンケートを実施しており、個人投資家のホットな声を直接聞くことができます。個人投資家コミュニケーションの場としてご活用いただけるサービスです。

< 株式会社エーツーメディアについて >

会社概要

会社名：株式会社エーツーメディア

URL：<http://www.a2media.co.jp>

所在地：東京都港区西新橋3-3-1 西新橋TSビル7F

設立日：2002年8月8日

資本金：6,230万円

代表者：代表取締役社長 永山 均

事業内容：IR企画・制作、年次報告書・アニュアルレポート・会社案内作成、IRサイト・コーポレートサイト構築、映像メディア作成、事業会社向けインターネットマーケティング、コンサルティング、コールセンターの受託運営、テレマーケティング業務の受託

事業概要：株式会社エーツーメディアは、ディスクロージャービジネスの大手、株式会社プロネクサスのグループ会社としてEnhanced IRを企業理念にIR活動を支援しています。Enhanced IRとは、さまざまなマーケティング手法を駆使し、IR活動の領域を広げることで、顧客企業の投資家を中心にステークホルダーへのプレゼンスを改善・向上していこうという考えです。

株式会社エーツーメディアは、e-株主リサーチやe-株主モニターアンケートの結果などを多方面からの情報を連動させ、独自の知的アセットを構築し、市場の求めるメディアのあり方を模索していきます。